

競技・審判上の注意

1. 本大会は、平成30年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程並びに同公認審判員規程により行います。
2. 各会場の開館時間は8時30分です。
3. 選手の受付は、競技当日、参加種目会場のロビーにて受付を行ってください。他の会場での受付はできません。受付時間は各会場とも8時30分からです。
4. 大会期間中の練習会場は、特に設けておりません。
試合開始の場内放送後、選手は選手待機所から先にコートに入ります。
5. タイムテーブルには、コート別に試合順が示されていますが、あくまで目安であり、流し込み方式で行います。また、試合の進行状況により、試合順序や開始時刻を変更して試合を行うことがありますので、場内放送に注意してください。
6. 試合開始の場内放送後、10分経過して当該選手がコートに入らない場合は棄権とみなします。その最終判断はレフェリーが行います。
7. 連続試合の場合は、原則として試合終了後15分の間隔を置き、次の試合を始めます。
8. シャトルは試打してありますので、選択は認めません。シャトルの交換については、主審の許可を得てください。
9. 試合中の水分補給については、必ず主審の許可を得てください。容器についてはフタ付きのものとし、床面にこぼさないように注意してください。飲料容器は、コート脇のカゴに入れるようにしてください。
10. コーチングシート（コーチ席）は、所定の位置に2席用意してあります。
11. 試合時の服装で、色付き着衣を使用する場合は（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とし、上衣の背面には都道府県名を明記してください。文字列の大きさについては、（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第24条によるものとします。
12. 試合中のケガや病気の場合は、主審の判断によってレフェリーを呼び、レフェリーが医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。なお、試合中のケガや病気の応急処置は主催者側で行いますが、その後の処置については各自の責任で行ってください。
13. 携帯電話は、試合中電源をOFFにしてください。警告、フォルトの対象になります。また、モバイル機器（iPad等）を使用しての試合中のアドバイス、コーチングは、禁止します。
14. 本大会の主審と一部線審は、愛知県バドミントン協会が行いますが、敗者は次の試合の線審となります。試合終了後、敗者の方はそのコートで待機してください。なお、敗者線審を担当する際は（代理の方を含め）、体育館シューズ着用でお願いします。競技最終日（準決勝、決勝）の審判は、全て愛知県バドミントン協会で行います。
15. 審判構成は、主審、線審2名で、サービスジャッジは原則として配置しません。ただし、準決勝、決勝は、主審、サービスジャッジ、線審4名で行います。
16. 閉会式、表彰式については、以下のとおりです。
 - ・閉会式は行いません。
 - ・入賞者（1～3位）には、賞状とメダルが授与されます。
 - ・表彰式は、決定しだい随時、所定の場所で行います。
 - ・表彰後、入賞者ごとの写真撮影を表彰席脇の撮影位置で行います。
17. 競技区域フロア以外でのシャトル打ちはご遠慮ください。（特にロビーや体育館外）
18. ゴミはすべて各自でお持ち帰りください。